



報道関係者各位

2007年1月11日

ジョーンズ・デイ東京事務所に
清原健弁護士が入所

—新パートナーを迎え、M&A 業務を強化—

国際法律事務所であるジョーンズ・デイは、企業取引及びM&A担当の清原健弁護士を、2007年1月1日付で東京事務所のパートナーとして迎えました。

清原弁護士は、過去10年間米国及び東京において米国系及び英国系法律事務所で勤務した経験を通じて蓄積したM&A、ジョイント・ベンチャー、プライベート・エクイティ、レバレッジ・ファイナンスなどを含む、国内及び国際的な企業取引及びファイナンス取引の分野における豊富な経験をもっています。清原弁護士は、また証券会社、銀行、投資信託委託会社に対してコンプライアンス上のアドバイスを定期的に提供しています。大手米国系投資銀行の東京オフィスの法務・コンプライアンス部門に出向した経験を基に、日本の証券法制に対する豊かな知識を有し、また、クライアントのニーズに対して、実務的かつ迅速に対応するスタイルを獲得しています。

ジョン・C・ローバック東京事務所代表は、「清原弁護士をジョーンズ・デイ東京事務所に迎えることができ、我々は大変嬉しく思います。清原弁護士の豊かな経験と広い法的知識は、クライアントの皆様の日本における企業取引やM&Aの分野での活動に向けた我々のサービスを一層向上させるものと確信しています」と述べています。また、ジョーンズ・デイは、世界のM&A案件数において過去7年連続でトップであり、「世界中で最も活発で、早いスピードで成長しているM&A市場のひとつである東京における我々のM&A業務に、清原弁護士の参加は力強い存在となります」とも述べています。

清原弁護士は、「ジョーンズ・デイは、幅広いプラクティス分野を持っており、企業取引を業務分野とする弁護士にとって素晴らしい機会を与えてくれる国際的な法律事務所です。そのチームワーク重視のアプローチは、クライアントの方々が世界中のどこからでも、間段なく一貫した法務サービスを受けることを可能にします。また、法律業務の市場が、特に企業取引及びファイナンス分野において、急速に変化している日本に、ジョーンズ・デイは大きくコミットしています。私は、世界的に活躍するジョーンズ・デイの弁護士の方々と一緒に、クライアントによりよいサービスを提供し、この分野の発展に貢献できることを楽しみにしております」と述べています。

###

ジョーンズ・デイは、最大規模を誇る東京事務所を有する国際法律事務所のひとつです。ジョーンズ・デイは世界のビジネス、金融の中心の30都市に事務所を構える国際法律事務所です。ヨーロッパに400名、アジアに200名を含む、合計2,200名を超える弁護士を擁しており、世界でも最大規模の法律事務所の一つに数えられています。ジョーンズ・デイは「フォーチュン500」にあげられている企業の半数以上を含む多岐にわたる企業及び個人に対し、顧問法律事務所として、あるいは主要な外部法律事務所として法律業務を提供しています。

お問合せ先: 黒沢 ありさ

Business Development & Communications Manager

外国法共同事業 ジョーンズ・デイ法律事務所

E-mail: akurosawa@jonesday.com

Tel: 03-6800-1839